

土木技師秋中義範氏

七月一日より事務所開設



哇技師協會、布哇科學會、
 布哇競漕協會、布哇日本人
 公民協會及びオアフ市民國
 防委員である（寫眞は秋
 中氏）

過去十一年政府に奉職した
 縣企畫局企畫技師助手秋中
 アーサー義範氏は企畫局が
 六月三十日限り廢止される
 事となつたので七月一日よ
 りアラケア街一〇六一番地
 カー建物内元ケーン・アワ
 ナ技師組合跡に開業して土
 木建築設計及び土地測量の
 求めに應ずる事となつた、
 同氏は公認土木建築技師及
 び測量師であり、マツキン
 レー・ハイ校卒業後一九三
 〇年優等で布哇大學を卒業
 し、同年當地建築師の下に
 技師として就働、一九三一
 年より三五年迄合衆國技師
 局に入り縣内の各種設計事
 務を擔任、一九三五年から
 三八年迄ヒツカム飛行場合
 衆國建築兵站事務所勤務
 後縣企畫局に入り今日に至
 つたものである、同氏は布

ア 審 之 媒 キ エ 無

當 發 同 十 神 之

加 十 來

を了した、この間二月休
 刊を餘儀なくされてゐた所
 六月二十五日を以て再刊し
 た、新社屋として同地舊
 日本語學校々舎を入手使用
 してゐるが、来る八月下旬
 移轉擴張及び創刊二十周
 年記念號を發行する由で
 あるなほ同社の社長は金城

埃が集められるとして三
 の一は焼捨爐で處理出來
 から殘餘を海上に取捨て
 ばよい、バーヂに二千立
 ヤード積込めるとして約
 日に一回即ち一週間に二
 年に百回となる、往復
 十哩の航行に九時間、消
 ポンプによる取捨てに三
 間を要するとして之に要
 る費用は
 曳船一時間二十弗で都合
 二百四十弗、バーヂ一日
 二十五弗で三日半に八十
 八弗、合計一回の處理に
 三百二十八弗即ち年三萬
 二千八百弗、塵埃のバー
 ヂ積込み及び取捨てに各
 四人宛を毎日要し日給五
 弗二十仙として一日四十
 一弗六十仙、即ち一回の
 處理に百四十六弗、年一
 萬四千六百弗、即ち一年
 の全費用は四萬七千四百
 弗となる
 二分の一を焼捨爐で片付け
 餘を海上に取捨てるとし
 市内の塵埃及び殘飯處理
 に要する費用はツラツクの
 費用を別として

一年八萬四千 五百弗の見積

られてる、クネシユ氏は海
 上放棄による方法では塵埃
 噸につき八十七仙、焼捨